

商品番号 180411

エポニックス #20下塗

- 1. 一般名** エポキシ樹脂下塗塗料（水中部用）
2. 規格 機械工事塗装要領（案）・同解説
3. 特徴
- 1) 耐酸性、耐アルカリ性等の耐薬品性及びガソリン、灯油等の耐油性にすぐれている。
 - 2) 耐水性、耐海水性等の防食性にすぐれている。

4. 塗料性状

項目		内 容				
容姿		2液性				
荷姿		20kgセット(主剤:17kg、硬化剤:3kg)				
色相		さび色、赤さび色、ねずみ色				
光沢		つや消し				
密度 (23°C)	塗料 揮発分	1.33(ねずみ色) 0.87				
加熱残分		63%(ねずみ色)				
乾燥時間	温度	5°C	10°C	20°C	30°C	40°C
	指触	1.5時間	1.5時間	1時間	30分	20分
	半硬化	24時間	18時間	8時間	6時間	5時間
標準膜厚		100μm				
引火点		SDS参照				
発火点		SDS参照				
爆発限界(下限~上限)		SDS参照				

上記塗料性状の数値は標準を示すものであり、若干の変動がある。

5. 塗装基準

項目		内 容				
素地調整		blast ISO-Sa2½(SSPC-SP10)				
調合法		主剤:85部、硬化剤:15部(重量比)				
可使時間	5°C	10°C	20°C	30°C	40°C	
	12時間	10時間	8時間	4時間	2時間	
気温、湿度制限*		気温:5°C以下、湿度:85RH%以上				
使用シンナー		エポニックスシンナーB 及び同夏型、同真夏型				
塗装方法	塗装方法	エアレス塗装				
	希釈率	0~3%				
	参考塗布量*	500g/m²				
	標準膜厚*	100μm				
エアレス塗装条件	ウェット管理膜厚	225μm				
	1次圧0.4MPa(4kg/cm²)以上 2次圧12MPa(120kg/cm²)以上					
	チップNo.163-517~721(ゲラコ)又は相当品					
塗装間隔*	最小 (20°C)	1日				
	最大	10日				

注) *は「機械工事塗装要領(案)・同解説」による。

6. 施工上の注意

- (1) 被塗面の油・湿気・じんあい、水分、その他の有害な付着物は完全に除去する。
- (2) 使用時には主剤と硬化剤を規定の割合に混合し、十分攪拌して均一な塗料状態にする。混合比を間違うと十分に塗膜性能を發揮しないばかりか、塗膜が硬化しない事がある。
- (3) 主剤と硬化剤を混合した後は、可使時間以内に使い尽くすこと。
- (4) 余り塗装間隔が長くなると密着不良となる。規定範囲内で塗り重ねを終わるようにすること。尚、規定以上経過した場合は塗膜表面をサンドペーパー等にて研磨し、更にウエスにて拭いて調整してから塗装すること。
- (5) 希釈には必ずエポニックスシンナーB、同夏型、同真夏型のいずれかを使用すること。
- (6) 塗装終了後の使用機器は直ちにシンナーで十分に洗浄する。一度硬化すると再びシンナーでは溶解しなくなる。

7. 関連法則

	主 剤	硬 化 剂
危険物表示	第4類第2石油類	第4類第1石油類
有機溶剤区分	第2種有機溶剤含有物	第2種有機溶剤含有物
有害物質表示	SDS参照	SDS参照
劇物表示	—	—

ホルムアルデヒド放散等級: F☆☆☆☆

8. 使用上の注意【警告】

- (1) 安全情報に関する内容は、SDSをご参照下さい。

使用上の注意の詳細は容器のラベルに表示。

本書類の内容は予告なしに変更を行うことがあります。